

貸借対照表

平成27年9月30日現在

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債及び純資産の部 | |
|-----------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 3,162,880,606 | 流動負債 | 481,623,220 |
| 現金・預金 | 2,335,944,560 | 買掛金 | 65,516,738 |
| 受取手形 | 80,335,855 | リース債務 | 2,467,687 |
| 売掛金 | 409,564,339 | 未払金 | 48,246,144 |
| 商品 | 158,078,038 | 設備未払金 | 44,454,560 |
| 仕掛品 | 61,362,006 | 未払費用 | 137,610,339 |
| 原材料 | 41,879,833 | 未払法人税等 | 37,500,000 |
| 貯蔵品 | 33,940,587 | 未払事業税 | 15,766,493 |
| 前渡金 | 20,000 | 未払消費税等 | 437,503 |
| 前払金 | 652,100 | 前受金 | 4,262,356 |
| 前払費用 | 6,220,069 | 預り金 | 83,240,000 |
| 未収入金 | 3,994,751 | 賞与引当金 | 5,290,000 |
| 仮払金 | 6,640,621 | 役員賞与引当金 | 36,831,400 |
| 短期繰延税金資産 | 49,837,847 | 固定負債 | 223,990,606 |
| 貸倒引当金 | -25,590,000 | リース債務 | 6,051,526 |
| 固定資産 | 1,690,131,803 | 資産除去債務 | 11,536,962 |
| 有形固定資産 | 1,539,548,859 | 退職給与引当金 | 191,894,564 |
| 建物 | 146,780,374 | 役員退職慰労引当金 | 13,200,000 |
| 建物附属設備 | 13,636,361 | 預り保証金 | 1,307,554 |
| 構築物 | 38,806,429 | 負債の部合計 | 705,613,826 |
| 機械装置 | 3,213,587 | | |
| 車輜運搬具 | 14,833,631 | (純資産の部) | |
| 工具・器具・備品 | 19,190,849 | 株主資本 | 4,147,398,583 |
| 貸貨資産 | 20,488,913 | 資本金 | 50,000,000 |
| 建物(除去費用) | 4,108,326 | | |
| 構築物(除去費用) | 2,402,613 | 資本剰余金 | 268,227,302 |
| 土地 | 1,268,516,941 | その他資本剰余金 | 268,227,302 |
| リース資産 | 7,570,835 | 自己株式処分差益 | 268,227,302 |
| 無形固定資産 | 4,348,725 | | |
| 電話加入権 | 75 | 利益剰余金 | 3,829,171,281 |
| ソフトウェア勘定 | 4,348,650 | 利益準備金 | 12,500,000 |
| 投資その他の資産 | 146,234,219 | その他利益剰余金 | 3,816,671,281 |
| 出資金 | 60,000 | 別途積立金 | 3,538,800,000 |
| 長期受取手形 | 21,201,600 | 繰越利益剰余金 | 277,871,281 |
| 長期前払費用 | 2,151,665 | | |
| 差入保証金 | 46,338,480 | 純資産の部合計 | 4,147,398,583 |
| 破産更正債権等 | 3,581,321 | | |
| 繰延税金資産 | 76,611,153 | 負債及び純資産の部合計 | 4,853,012,409 |
| 貸倒引当金 | -3,710,000 | | |
| 資産の部合計 | 4,853,012,409 | | |

個別注記表

1. この計算書類は『中小企業の会計に関する指針』により作成されております。

2. 重要な会計方針

- ・ 有価証券の評価基準および評価方法

- a. 時価のあるもの………期末日の市場価格等に基づく時価法

- なお、評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。

- b. 時価のないもの………移動平均法による原価法

- ・ 棚卸資産の評価基準および評価方法

- a. 製品および仕掛品………最終仕入原価法による低価法

- b. 原材料………最終仕入原価法による低価法

- ・ 固定資産の減価償却の方法

- a. 有形固定資産(リース資産を除く)………法人税法の規定による定率法

- なお、平成10年4月1日以降取得した建物については、定額法を採用しております。

- b. 無形固定資産(リース資産を除く)………法人税法の規定による定額法

- c. リース資産

- 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

- なお、所有移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年9月30日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

- ・ 引当金の計上基準

- a. 貸倒引当金………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に

- より回収不能見込額を計上しております。また、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

- b. 賞与引当金………従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期対応額を計上しております。

- c. 役員賞与引当金………役員の賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期対応額を計上しております。

- d. 退職給付引当金………従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しております。

- e. 役員退職慰労引当金………役員の退職慰労金に備えるため、役員退職慰労金規定に基づく期末要支給額により計上しております。

- ・ その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

- a. 消費税等の会計処理

- 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

3. その他の注記

当期純利益額

221,519,984円